

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 てつなぎの会
施設名	田無ひまわり保育園
報告者（役職）	小牧 智子（園長）
住所・連絡先	東京都西東京市田無町 7-2-21
	☎ 042-452-0551
	E-mail hima37@fitcall.ne.jp

○タイトル（保育計画）

子どもが子どもらしく、ひとりひとりが輝く保育環境の整備

○主な助成備品

2人乗りバギー、祭りはんてん、紙芝居、キッチンセット、パーテーションなど

1. 保育計画策定の目的

新規園である田無ひまわり保育園では、子どもたちの遊びや活動が豊かになるための備品や教材が整えられずにいたが、助成金を受けることで、室内外の子どもたちが過ごす環境を整えるための備品の購入ができ、保育の内容が豊かになった。また、行事への取り組みも、楽器や祭りはんてんがあることで、幼児が取り組む活動の幅が広がった。

2. 具体的な実施内容

戸外活動にて

- ・0歳児の歩行が確立していない子どもたちも安心して園外への散歩を楽しむためのベビーカーを充実。
- ・玉入れで、子どもの運動能力を高める。

室内活動にて

- ・語彙力と感性を育む紙芝居を、0歳児～5歳児と幅広く楽しめる紙芝居を整える。
- ・お世話あそび、ごっこ遊びを豊かにするキッチンセットや人形を充実。
- ・個々が集中して遊べる空間づくりや、コーナー作りのためのパーテーションの設置。

生活空間の整備

- ・布団をコンパクトに収納し、必要な場所まで移動できる布団入れワゴンの設置。

表現活動

- ・子どもたちが楽器に親しみ、気軽に触れ合えるよう、すず・カスタネット・ピアノを用意。
- ・日本の伝統文化に触れながら、表現活動を盛り上げる、祭りはんてんの整備。

3. その成果と評価

戸外活動にて

- ・0歳児の子どもたちのお座りがしっかりしてきた頃より、お散歩に出かける機会を増やすことができ、五感を使って戸外を楽しむことができた。
- ・運動会にて「玉入れ」を取り入れ、練習時より楽しみながらボールの上手投げをし、身体能力を高める活動ができた。

室内活動にて

- ・乳児から幼児まで、言葉の繰り返しのある紙芝居や、物語性のある紙芝居などを取りそろえることで、語彙力を高め、皆で共感し合って一つの物語などを楽しむ機会を増やすことができた。特に、お誕生会等園児みんなが集まる機会にも、一体となって楽しめる紙芝居を整えることができ、子どもたちも喜んでいる。
- ・主に自由あそびの時間に、子どもたちは好んでおままごとやお世話あそびに熱中し



て遊ぶが、キッチンやままごと道具、人形が充実することで、みたく・つもり遊びが発展し、子ども同士のかかわり合いも増えて、言葉や心の育ちに大きく影響している。

- ・パーテーションなどを活用することで、目に見えたわかりやすいコーナー作りができ、子どもたちも落ち着いて活動に取り組むことができる。また想定外であったが、建物の使い

勝手の悪さから、プライバシーゾーンの間仕切りとしても活用している。

生活空間の整備

- ・布団をコンパクトに収納し、必要な場所まで移動できる布団入れワゴンの設置をすることで、保育者の負担となるお昼寝布団の移動が楽になり、その分、子どもたちとかかわる時間に費やすことができる。

表現活動

- ・発表会や卒園式などに楽器を使用して合奏に取り組み、リズム感を培い、皆の前で発表する緊張感などを味わい、できたことで自信につなげていくことができた。また、鈴やカスタネットなどは親しみやすい楽器なので、1～2歳児も触れて楽しむことができた。

- ・祭りはんてんが用意されていることから、2016年度の年長児の運動会の遊戯は、「よさこいエイサー琉球王」に取り組み、日本の伝統文化に触れながら気持ちを盛り上げ、皆で力を合わせて作っていくことの充実感や達成感を味わうことができた。また、年長児にふさわしいお遊戯の出来栄に、年下の園児たちのあこがれの存在となった。



4. 今後の課題と展望

新設園であった田無ひまわり保育園も、助成金により様々な保育用品の購入ができ、1年目、2年目と活用できている。子どもたちが長時間過ごす保育室内の環境や保育内容がより豊かになるよう、職員間の連携と話し合いでさらなる工夫を凝らして、購入したものを十分に活用できるようにしていきたい。

祭りはんてんは園の伝統として、毎年の運動会にて年長児が着用して日本の文化が伝わる遊戯に取り組むようにしていきたい。



以上